

ひょうたんの 加工と芸術

ヒョウタンは最古の栽培植物の一つで一万年以上前から続いてきました。ヒョウタンは軽くて丈夫で密封性があり栽培や加工も容易なことから世界中でさまざまに利用されてきました。例えば、水入れとしての利用は、土器よりも早く、空洞は音を良く響かせるので、楽器の材料としても利用されました。ほかにも神話に登場するなど精神的な面もあわせ持ちます。ヒョウタンを通して人の生活や文化をご紹介します。

I 生育中の加工

1. 型にはめる
2. 縛る
3. 結ぶ
4. ビンに入れる



芸術

ヒョウタンにはさまざまな加工が施せます。
精微な技巧をご覧ください。



II 収穫後の加工

1. 染める
2. 塗る
3. いぶす
4. 書く
5. 描く
6. 焼刻
7. 貼る：和紙、シール、印刷片、布
8. 彫る
9. 透かす
10. つける：金属、飾りひも
11. 覆う：ビーズ、糸
12. 縫う、刺繍
13. 切る 組み合わせる

楽器

ヒョウタンの空洞は音をよく響かせるため楽器として利用されてきました。今回は各国のマラカスを展示します。



ひょうたんマラカス

